

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 3 重要物流道路のサービス水準・構造基準等検討業務
業 務 概 要	本業務は、重要物流道路の望まれるサービス水準や管理水準を検討し、道路構造の基準に関する検討を行うものである。重要物流道路の利用状況を踏まえ、あるべき管理水準・構造基準について、有識者の意見を踏まえながら、とりまとめを行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 若林 伸幸 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和3年 7月14日
契 約 業 者 名	一般財団法人国土技術研究センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区虎ノ門三丁目12番1号
契 約 金 額	¥29,997,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥29,997,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、知識、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。 一般財団法人国土技術研究センターは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和3年 7月15日
履 行 期 間 (至)	令和4年 2月28日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。